

【小矢部市】 校務DX計画

1 これまでの小矢部市の取組について

小矢部市では、平成30年度に統合型校務支援システムを導入し、また、令和2年度にGIGAスクール構想の整備を行い、クラウドサービスを活用した児童生徒へのアンケートの電子化などといった取り組みにより、教員・生徒間などの情報共有やペーパーレス化を推進してきた。

さらに、令和4年度に学校と保護者との間の連絡ツールを更新することで、保護者へ配布する文書の電子化や、アプリを活用した保護者から学校への欠席連絡の活用を進めることで、学校業務における負担軽減などを図ってきた。

2 小矢部市の課題について

令和5年度に実施のあった「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果」（文部科学省 令和5年11月）の結果などを踏まえ、本市には次のような課題がある。

- ・クラウドサービスなどのICT活用状況について、各学校間で差が見受けられる。
- ・紙での提出が必要な書類があるなど、ペーパーレス化を進める上では大きな阻害となっている手続等がある。

3 今後の校務DXの取組について

市内小中学校、教育委員会との間での会議の場などを活用し、情報交換等により学校間でのICT活用スキルの差の解消を目指す。

FAXについて、緊急性の観点から必要と判断されるもの以外は原則廃止していき、また、押印・署名が必要な書類についてもペーパーレス化を進めるうえで支障が生じるものであるため、業務実態を把握して、不必要と判断されるものについては原則廃止していく。なお、小矢部市単独で解決できない課題がある場合は、県や他市町村と連携して対応を推進していく。

教職員が校務系システム及び学習系システムにおいて使用するデータを一体的に利用できるように、校務系及び学習系ネットワークの統合を行い、業務の効率化・業務負担の軽減を図っていく。併せて、ゼロトラストを前提としたセキュリティ対策を実施し、校務DXにおけるクラウド環境の利用を前提とした「小矢部市教育情報セキュリティポリシー」を策定する。